

北海道浮魚ニュース

平成 29(2017)年度 14 号

2017 年 8 月 7 日

道総研 水産研究本部

釧路水産試験場

ホームページ：<http://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/section/shigen/ukiuo/index.html>

平成 29 年度サンマ長期漁海況予報（道東～常磐海域）発表される

8 月 4 日、水産庁より平成 29 年度サンマ長期漁海況予報（道東～常磐海域）が発表されたので概要をお知らせします。なお、この予報は関係試験研究機関による資源調査結果等を踏まえて、東北区水産研究所が取りまとめました。

予報文の詳細は、以下のサイトでご覧になれます。

水産庁：<http://www.jfa.maff.go.jp/j/press/sigen/170804.html>

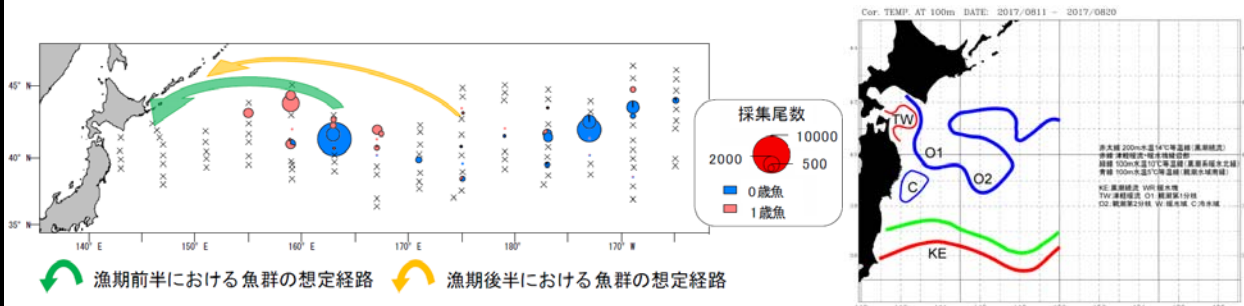
東北区水産研究所：<http://tnfri.fra.affrc.go.jp/press/h29/20170804/20170804sanmayohou.pdf>

今後の見通しのポイント

（漁況：平成 29 年 8 月から 12 月まで、海況：平成 29 年 8 月及び 9 月）

対象海域：北西太平洋（道東海域から常磐海域）、対象漁業：サンマ棒受網

- 1 区（東経 162 度以西の海域）の分布量が前年を上回ったことから漁期前半（10 月上旬まで）の来遊量は前年を上回るものの、2 区（東経 162 度～西経 177 度の海域）の分布量が例年よりも著しく低いことから漁期後半（10 月中旬以降）は前年を下回り、低調に推移する。漁期全体の来遊量は前年を下回る。
- 漁期前半は 1 歳魚の割合が高いが、漁期後半は 1 歳魚の割合が低くなり、0 歳魚が主体となる。漁期全体の 1 歳魚の割合は前年より低くなる。
- 大型船が出漁する 8 月下旬の主漁場は色丹島～ウルップ島沖に形成される。
- 暖水塊は消滅し、親潮第 1 分枝の南限がかなり南偏（北緯 37 度 40 分～39 度 30 分）すると予測されるため、9 月中旬には前年よりも沿岸寄りに漁場が形成され、一時的に漁獲量が増加する。
- 三陸海域への南下は前年よりも早く、平年並みの 10 月上旬となる。



平成 29 年 6 月～7 月に行ったサンマ分布調査の結果 海況の今後の見通し（8 月中旬）

（釧路水産試験場 調査研究部、TEL:0154-23-6222、FAX:0154-23-6225）